

他人にししか話せない

深い友人関係避ける 未婚率上昇に影響か

おっさんレンタルなる商売が、東京で話題になっていく。恋愛相談や友人との付き合い方指南など、1時間1000円のサービスで、10代、20代の女性に大受けだという。よりによって、なぜおっさんなのか。そのなぞを解いていくと、晩婚化や未婚率上昇など、出生率低下につながる東京の若者気質が見えてくる。

おっさんは、スタイリッシュで専門学校講師の西本貴信さん(47)。2012年秋に、中年男性と若者の接点があり、これまでに1000回以上レンタルされたという。その半数以上は10〜20代の若者で、女性が多い。内容は恋愛や友人関係など、コミュニケーションを巡る相談だという。レンタルに同行した。J

R恵比寿駅、午後7時半。カジュアルなファッションに身を包んだ都内在住の会社員、村上紗英さん(26)が仮名が現れ、恋愛について切り出した。

「どうやったら人と深い仲になれるのか分からないですよ」。近くのカフェで、ぼつりとおぼやいた。好きになりそうな男性とデートの後、一夜を共にしたが、その後の進め方が分からない。「付き合ってくだ

さいって言われたら付き合うけど、自分からいくのはいや。連絡がないから私はタイプじゃないのかなって

「相手のことを理解しよう」とすると相手も乗ってくると興味持たないと腹割ってくれないよ」と諭すと、



相談を受ける西本貴信さん(左)

「最近の若い子は友だち同士でも本気で会話してない。自分のかっこ悪さを話せない。ネットで簡単に調べ物ができるから恥をかかなくていい。告白も自分からしない。だから、しがらみのない見ず知らずのおっさんに相談するんじゃないですかね」

幼稚園 対話学ぶ場

出生率低下で、きょうだいが減り、ひとりっ子の割合も増えている。習い事や塾に忙しく、公園で遊ぶ機会も少ない。東京の「放課後NPOアフタースクール」代表、平岩国泰さん(41)は、遊びの中で学ぶ「社会性」の欠如に危機感を抱く。

「私が子どものころの公園は、違う学年の大勢の子どもたちが集まって遊んだもの。その中で失敗を学び、ケンカしても自分たちで解決しながらコミュニケーション能力を磨いた。ところが今は、東京にそういう公園はほとんどない」

「倒立がすごい」「いろんな仲間と遊ぶ」。良い点を次々に言葉にする園児たち。清水先生が口をはさんだのは、園児の一人が「もっと頑張りたいと思う」と言った時だった。

「何をどう頑張りたいかな?」「うーん、班の仕事とか……」。考え込む園児に、清水先生は「どこを頑張りたいかを教えてあげた方が、頑張りやすいよね」とアドバイスした。

4月の誕生会。担任の清水久美子先生(26)が園児たちにごう呼びかけた。「誕生日を迎えた仲間をもっと好きになるように、良いところ、頑張った方がいいところを言葉にして贈りましょう」

別の園児「何でもできる」

「おっさんレンタルに象徴される、若者のコミュニケーション能力低下。東京工業大が大学生を対象に実施した12年の調査では、「一人を好み、相手の話に関心を持ってない」が49.6%に達するなど、人との交流を敬遠しがちな若者像が浮かび上がる。深入りしない付き合いは、いままの一般的な若者気質かもしれないが、一極都市、東京では顕著に表れたひずみの一つでもある。恋愛に消極的な若者が増えれば、結婚、出産、子育てに至る道筋が狭まり、この街の出生率は下降線をたどるに違いない。

極 社会

第2部 東京で生きる

5

コミュニケーション教育に力を入れる風の谷幼稚園。園児たちに、具体的な答えを求める＝川崎市麻生区で4月14日、宮間俊樹撮影



「かっこいい禁止」など、禁止事項が並ぶ。子どもたちの遊ぶ声を巡り、訴訟も起きた。平岩さんは「失敗すること、恥をかくこと。そうした経験がないまま成長すれば、深い人間関係を

「この連載は、中西拓司、永井大介、安高晋、鈴木敦子、阿部亮介が担当しました」

「なるほど。そうなのかな」。少し納得したようだ。友人ではなく、見ず知らずのおっさんに、なぜ恋愛について相談するのか。他人に近いから何でも話せる。友だちに話せる人があまりいないから。約1時間の相談を終えると、そう言い残して雑踏に消えた。西本さんの若者分析は、こんな具合だ。

「おわり」